

患者参加型医療推進委員会の活動

2021.9.13-9.17群馬大学医学部附属病院医療安全週間

患者参加型医療とは、

患者さん自身が自らの疾病や医療を十分理解し、
主体性をもって医療に参加するもの
医療の質と安全の向上が期待される



医療者と患者さんはワンチーム

委員会のあゆみ

- ・平成26年6月に判明した腹腔鏡手術等の医療事故に対して、平成28年7月にまとめられた「医療事故調査委員会報告書」の中の「再発防止に向けた提言」を受けて、平成30年6月に設立した
- ・大学病院として初めて患者参加型医療を推進するための委員会を院内に設置した
- ・委員には医療事故に遭われた遺族を含む3名の外部委員（うち1名は副委員長）が参加している

活動内容

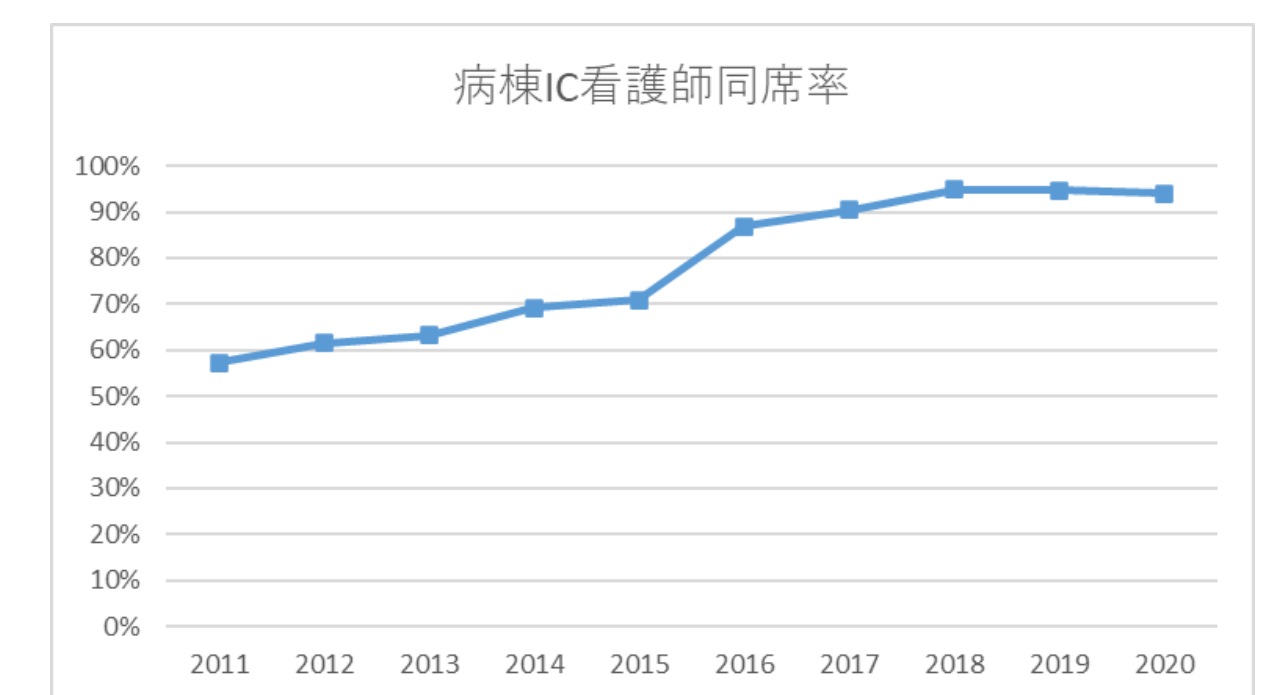
- ・年4回開催
- ・患者参加型医療の具体的な在り方についての審議
- ・患者さんと医療者の診療情報の共有に関する審議
- ・その他、患者参加型医療の推進に関する審議



これまでの主な取り組み

①よりよい**インフォームド・コンセント**のありかたへの助言

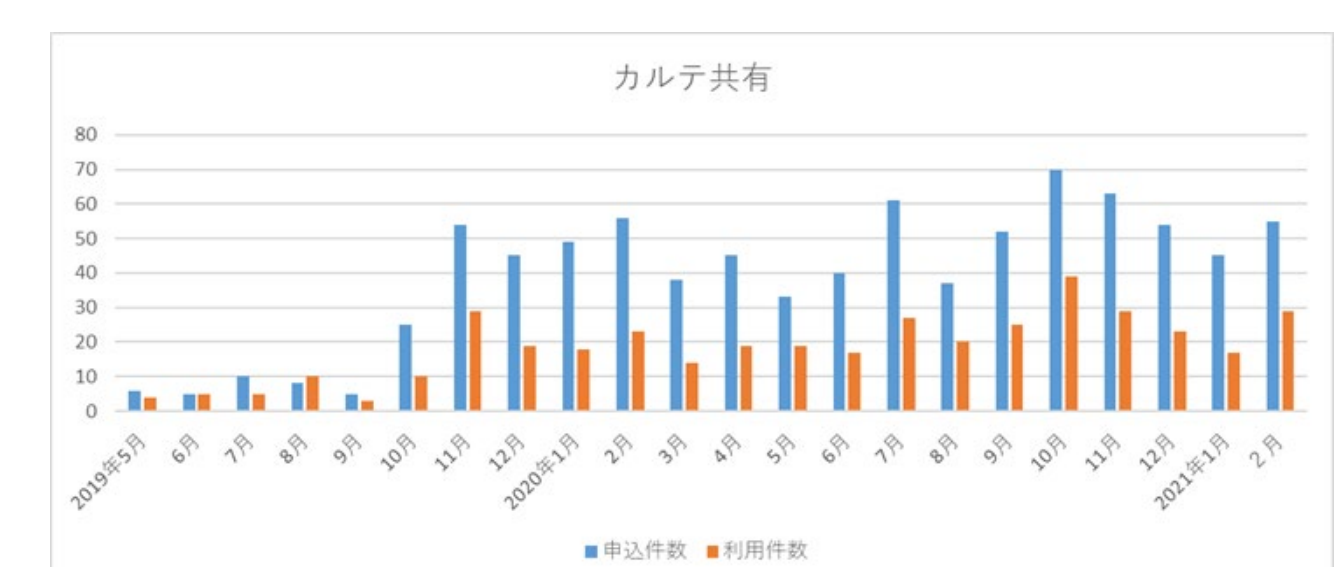
- ・患者さん・ご家族の視点から、説明同意文書の内容と表現についての助言
例) 何も治療をしなかった場合であっても、緩和的医療を受けられることを明記すべき
- ・看護師同席率に関する報告をうけ、意見交換
- ・インフォームドコンセントの録音を推進することについての助言
例) 録音件数が増えていないため、案内を強化すること、対象疾患を広げるなど



看護師の同席率の推移

②患者さんとの**カルテ共有**の取り組みの後押し

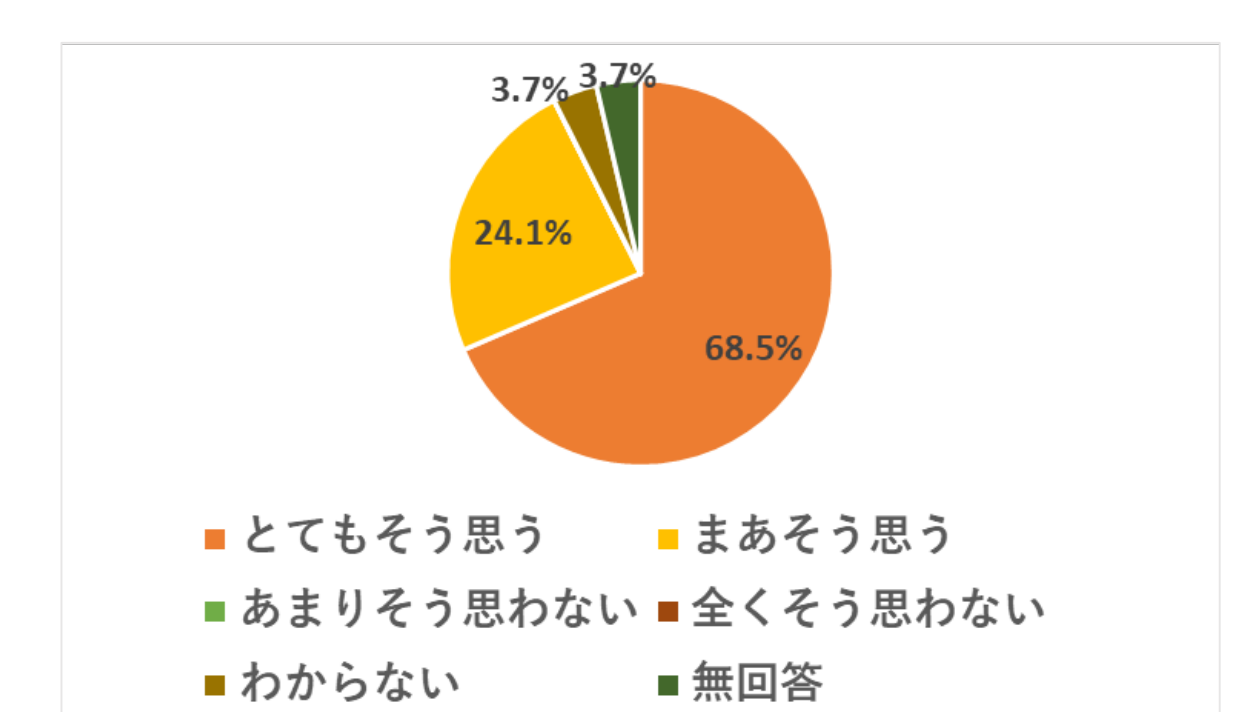
- ・カルテ共有を広く周知する必要性を提言→入院時の説明時に周知
- ・カルテ共有を希望しない理由の調査を提案し、実施した
- ・カルテ共有実施件数、患者さんからのアンケート結果の確認
結果) カルテ共有を希望する方の増加につながった、患者さんの満足度は高い



カルテ共有件数

③**カンファレンス**のあり方に関する議論

- ・最終的な方針決定の前に可能な選択肢を患者さん・ご家族にしっかり知らせることの重要性等について議論した
- ・院内で行われている多職種カンファレンスの実情について確認した



カルテ共有（閲覧）の仕組みは患者さんと病院や医療従事者との信頼関係を高めるために有用だと思いますか？

患者さんへのアンケート

④**情報発信**への助言

- ・病院ホームページリニューアル時の提案（患者参加型医療の推進）
- ・医療安全週間に関する情報発信の提案

⑤**誓いの碑**の設置

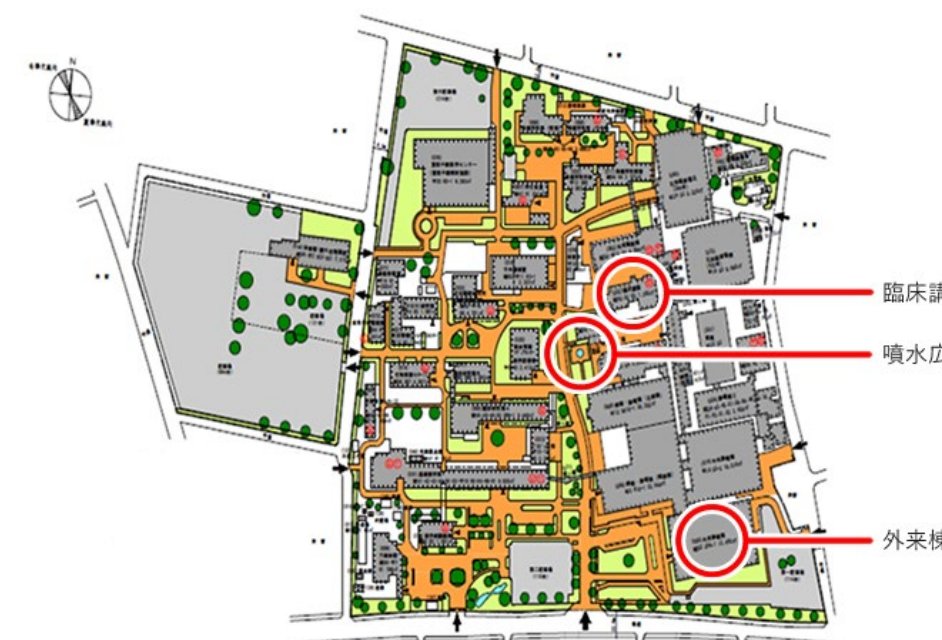
平成26年6月に判明した腹腔鏡手術等の医療事故の教訓を決して風化させないため、「誓いの碑」を設置し、令和2年6月18日に除幕式が行われた



誓いの碑



除幕式の除幕の様子



学内3か所に設置



Patient and Family Advisory Councils
患者諮問委員会

患者さんの視点を病院に取り入れるために活動する病院の委員会

- ✓ 全米1457施設の25%に病院としての委員会が設置(2014)
BMJ Qual Saf. 2016 ;25:182-189
- ✓ Dana Farber Cancer Center (1998)が医療事故後に設置
- ✓ 患者さんの視点を病院の質改善に取り入れるために活動
- ✓ ホームページや説明資料の内容の解りやすさについて患者さんの視点でのフィードバックを行う
- ✓ ピアサポート（患者さんが相談役となる）